

授業展開例（第2次 5時間扱い 8時間目／全12時間中）

第8時 実際に問題を解決してみよう（3）

教師が準備するもの：3-3ワークシート，S4Aがインストールされたパソコン，TECH未来シリーズセット

学習項目	学習活動・内容	●指導上の留意点	◎評価の観点と方法
導入 (10)	本時の学習目標を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 押しボタン式の車両用信号機のプログラムを作成してみよう </div> 1. 目標を確認する ○本時の課題を確認する	●本時の課題を確認させるようにする。 ●前時の復習としてフローチャートの書き方について確認させる。	
展開 (30)	2. 押しボタン式の車両用信号機のフローチャートを完成させ、実際にプログラムを作成する ・フローチャートの空欄に文字を入れる ・フローチャートの空いている部分の枠の形を考え、文字を入れる ・フローチャートを見ながら、実際にプログラムを作成する	●フローチャートを作成する上で、車両用信号機における信号機の点灯・消灯が、どのような順序で行われているか考えさせる。 ●フローチャートを作成する上で、信号を点灯する時間の記入についても注意させる。	
まとめ (10)	作成したプログラムを振り返る ○作成したプログラムは正常に動作したかを確認させる	●作成したプログラムを評価させるようにする。（作成したフローチャートに従ってプログラムは動作したか）	◎プログラムによる処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。【思考力、判断力、表現力等】(ワークシート)